

第 68 回中国・四国地区高等学校 PTA 連合会大会香川大会に参加して

令和 8 年 7 月 10 日香川県のレグザムホール大ホールにて第 68 回中国・四国地区高等学校 PTA 連合会大会が盛大に開催されました。空席が目立たない程、多くの方が集まり、徳島県からも 30 名近くの方が参加しました。

私は高校 3 年生と中学 2 年生に息子がいる 46 歳です。私たちは就職氷河期時代後期であり、最近では最も割を食った最悪の世代と言われたりもします。ただ、今の子供達が我々の年代になった時、最悪の世代争いをするのではないかと危惧しています。私が高校生になった 1995 年、四国の人口はピークの 423 万人から下り始め 418 万人でした。30 年後の 2025 年は現在の徳島県の人口とほぼ同じ 69 万人が減り 349 万人に。そして 24 年後の 2050 年の予測は減少が加速し 89 万人減の 260 万人になると言われております。高齢化も進むため、今の高校生たちの負担は大きくなることが予想されます。その為、いつも子供達の将来に不安を感じていました。

今回の中国・四国地区 PTA 連合会大会も初めて参加しましたが、その危惧や不安が吹き飛ぶような内容でした。まず開会行事では高松第一高等学校の友保海舟さんが多くの観客を前に一人で堂々と国家独唱を行いました。素晴らしい歌声に大きな拍手が送られました。

シンガーソングライターの半崎美子さんの記念コンサートをはさみ高校生による活動発表がありました。

まず香川県立高松北高等学校応援部による応援演武。8 月の世界大会にも参加するチアのチアダンスと応援部による野球応援メドレーが披露されました。ただ座っているだけなのですが応援されてる気分になり元気をもらいます。その後、高松中央高等学校空手部による「空手 団体形演舞」3 人の技の力強さ・呼吸の合わせはかっこよかったです。最後に尽誠学園高等学校和太鼓部の「和太鼓演奏」が披露されました。我々観客を巻き込みながらの演奏で会場が一つになりました。

全ての高校生による活動発表が終わり日常では感じる事が出来ない感動と気づきがありました。今の高校生は素晴らしいということを知りました。私のような中年が心配や不安を感じる必要はないのです。今の彼らはきっと成長し素晴らしい社会を築いてくれるであろうと明るく感じる事が出来ました。もし、普段の仕事や生活に疲れてしまったら、来年は山口県開催と遠くなってしまうかもしれませんが参加する事をお勧めします。

最後に各校の PTA 会員の方とも、また家と会社だけでは出会う事が出来ない方々と交流が出来、良い機会となり関係者の方々には感謝申し上げます。ありがとうございました。

徳島県立 城南高等学校 PTA 東條 陽平